

第45回 九州IE年次大会

「熱く語ろう 九州のモノづくり」

— 新時代への挑戦 —

会議

2024年 2月 14日 (水) 10:30~17:25

【会場参加】 ① ソラリア西鉄ホテル 8階 彩雲 (福岡市中央区天神2-2-43)
※定員 150名 会場参加希望で満席の場合は、オンラインでの受付となります。

【オンライン参加】 ② ライブ配信
※どなたでも参加可能です。1端末1名での参加をお願いします。

【基調講演】 「DX(デジタル)×CN(グリーン)に向けた製造業インフラの在り方」
～カーボンニュートラルに向けた新たな挑戦～

東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授
デジタル庁 シニア・エキスパート

江崎 浩 氏

【特別講演】 「不確実性の時代のモノづくり」
～中国リスクと日本のモノづくり～

(一財) キヤングローバル戦略研究所 主任研究員
トランス・パシフィック・グループ(株) 代表取締役社長
北海道大学 公共政策学研究センター 上級研究員

峯村 健司 氏

【事例発表企業】 大 電(株) (株)戸上電機製作所 黒崎播磨(株)
メルコパワーデバイス(株) アリアケジャパン(株)

現場 研修会

2024年 2月 15日 (木) ※コースによって時間が異なります

【全6コース】 各コース定員になり次第締め切り

Aコース: TOTOサニテクノ(株)・TOTOミュージアム Dコース: (株)ブリヂストン 鳥栖工場
Bコース: (株)安川電機 Eコース: (株)デンソー九州
Cコース: 日産自動車九州(株) Fコース: (株)湖池屋 九州阿蘇工場

ご 案 内

ロシアのウクライナ侵攻やイスラエル・ガザ紛争など国際情勢不安によるエネルギー価格・原材料価格の高騰、更には世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、モノづくり産業を取り巻く環境変化は激しく、不確実性も高まっています。

加えて、カーボンニュートラルを目指すGX（グリーントランスフォーメーション）やサステナブルな社会の実現のためにSDGs達成も求められるなか、AI、IoT、ロボット等のデジタル技術は急速に進化しており、DXの取り組みも加速度を増しています。

このようなVUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代にあって、我々製造業が持続的成長を実現するためには、地道な改善活動で築き上げてきた現場力と技術革新との融合による未来に向けたモノづくりイノベーションを実現していかなければなりません。

九州IE協会は、IErや生産革新・現場改善に携わる方々の情報交換・相互研鑽・交流を目的に、昭和43年より「九州IE年次大会」を開催しており、本年度第45回を迎えます。

今回は、「熱く語ろう 九州のモノづくり」－新時代への挑戦－をテーマに掲げ、講演・事例発表を通して、モノづくり革新のあり方や進むべき方向を探ります。

時節柄ご多忙の折と存じますが、多数ご参加いただきたく、ご案内申しあげます。

九州IE協会 会長 林 良 祐



大会組織

大会会長	林 良 祐	TOTO(株)	取締役専務執行役員
大会副会長	富 山 隆	日産自動車九州(株)	代表取締役社長
	岩 原 信 隆	トヨタ自動車九州(株)	車両本部長
	大 倉 正 彦	(株)安川電機	執行役員生産・業務本部長
大会実行委員長	堤 俊 樹	(株)戸上電機製作所	取締役上席執行役員製造本部長
大会委員	川 津 雄 三	黒崎播磨(株)	執行役員耐火物製造事業本部設備部長
	西 地 武 信	西部ガス(株)	生産部長
	新 貝 幸 樹	西部電機(株)	理事 生産技術部長兼工場長
	森 山 一 繁	大 電(株)	取締役電線事業部長
	合 田 智 一	TOTO(株)	執行役員技術本部長
	青 木 恵 一	トヨタ自動車九州(株)	TPS推進室室長
	山 口 哲 生	西日本鉄道(株)	自動車事業本部技術部部長
	市 川 誠 司	日産自動車九州(株)	取締役常務執行役員
	秦 啓 二	日本製鉄(株)九州製鉄所	生産技術部長
	佐々木 康 博	(株)ブリヂストン	九州生産部門長兼久留米工場長
	宇 高 茂 晴	三菱電機(株) パワーデバイス製作所	製造管理部部長
	古 達 浩 史	(株)ムーンスター	取締役
	原 勝 明	(株)安川電機	生産技術部部長
	池 田 敬 次	ヤンマー建機(株)	取締役生産部長
大会実行委員	西 田 敬 嗣	黒崎播磨(株)	設備部生産設備技術グループシニアマネージャー
	中 村 毅	西部ガス(株)	生産部技術グループ課長
	松 岡 大 使	西部電機(株)	生産技術部生産技術課課長
	辻 純一郎	大 電(株)	電線事業部製造部生産技術課長
	山 口 芳 久	TOTOアクアテクノ(株)	小倉製造部機器水栓小倉製品三課課長
	阿 部 真 一	(株)戸上電機製作所	製造本部生産・改善統括部生産技術Gマネージャー
	熊 田 浩	トヨタ自動車九州(株)	TPS推進室専技 TPS推進グループGM
	久木田 桂 一	西日本鉄道(株)	鉄道事業本部運転車両部車両課課長
	種 本 大 悟	日産自動車九州(株)	工務部生産計画課IE・APW推進室主担
	戸 田 優	日本製鉄(株)九州製鉄所	生産技術部IEソリューション室主幹
	大 矢 将 人	(株)ブリヂストン	久留米工場 工場企画管理課
	緒 方 賢 二	三菱電機(株) パワーデバイス製作所	製造管理部生産技術第一課課長
	村 上 芳 伸	(株)安川電機	生産技術部生産基盤設計課課長
	山 田 晴 輝	ヤンマー建機(株)	生産部生産管理部調達課課長

今年度も 会場 と オンライン いずれか参加方法が選べます！

■会場参加【定員150名】

先着順での受付となりますので、満席になった場合は、オンラインでのご案内となります。

※当日資料は配布いたしませんので、必要な方は各自でご準備ください。

資料につきましては、開催1週間前を目途に、ダウンロード用URLを申込時ご登録のメールアドレスにお送りします。

■オンライン参加

ライブ配信で視聴いただけます。

パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれでも視聴できます。（視聴者の顔は表示されません）

当日の視聴に必要なURL、ID・パスワード、ログイン方法、資料ダウンロード等につきましては、開催2週間前を目途に、ご登録のメールアドレスにお送りします。紙の資料が必要な方は、各自でダウンロード・印刷してご準備ください。

■お申込み前に、必ず本大会ページにある「オンライン視聴テスト」より、当日の視聴予定のPCにて視聴可能かをご確認の上、お申込みください。

大会当日に視聴できないとご連絡をいただいても、すぐに対応できないため、視聴いただけない場合がございます。当日、参加者の方の視聴環境により視聴ができなかった場合、参加費のご返金は致しかねます。

■1端末1名様での視聴をお願いします。お申込みご本人以外の視聴はお断りします。

会場・オンライン一体の大会 にするために

事例発表につきましては、各発表後、会場参加の方は挙手（チャットでも可）で、オンライン参加の方はチャットもしくは質問フォームより質問を受け付けます。聴講中、「そこ、もう少し詳しく教えて欲しい」「具体的にはどんな取り組みを？」と気になったら、講演中でも構いませんので、忘れないうちにチャットへ質問を送ってください。

チャットで質問を多数いただいた場合、時間の都合上、コーディネーターが多いものから選んで登壇者へ質問します。

会場参加、オンライン参加 ともに参加にあたっての注意事項

※動画配信・資料ダウンロード用のURLは、申込時に入力いただいた参加者のメールアドレスへお送りします。アドレスの入力ミスがないようお願いします。

※参加方式（来場参加またはオンライン参加）に変更がある場合は、必ず事務局までご連絡ください。

※お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は事前にご連絡ください。開催前日、開催当日のキャンセルにつきましては、キャンセル料を頂戴します。

■現場研修会

九州IE協会会員企業・未会員企業にかかわらず参加いただけます。ただし、**2日目みの参加はできません。**

前回の参加者の声

※アンケートより抜粋

- ・「カーボンニュートラルの本質は、つながる世界にするため（DXを実現するため）の架け橋である」という言葉に、カーボンニュートラルを行う理由を明確にすることができた。データ活用をどのようにしていくべきか？そのデータをどのようにつなげていくか？考えていきたい。
- ・基調講演や企業の事例発表を通して、新しい気づきや自らの見識を深めることができた大変有意義な1日だった。今後の業務改善に繋げていきたい。
- ・他社・他業種の改善事例を聞く機会がないので、とても勉強になり良い刺激を受けた。
- ・多くの取り組み事例があり、業種は違えど問題・課題、アプローチの視点は共通するものがあるということを改めて感じた。今日の学びを社内展開していき、部内全体の改善へのモチベーションを高めたい。

1日目 大会スケジュール

オンライン参加の方は 10:10 より入室案内を開始します

10:30 ~ 10:35	開会あいさつ	九州IE協会 会長 TOTO(株) 取締役専務執行役員	林 良祐
10:35 ~ 11:35	基調講演	「DX(デジタル)×CN(グリーン)に向けた 製造業インフラの在り方」 ~カーボンニュートラルに向けた新たな挑戦~ 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授 デジタル庁 シニア・エキスパート	江崎 浩 氏
【講師プロフィール】			
1987年 九州大学 工学部電子工学科 修士課程了。 同年4月 (株)東芝 入社。1990年より2年間 米国ニュージャージー州 ベルコア社、1994年より2年間 米国ニューヨーク市 コロンビア大学にて客員研究員。1994年ラベルスイッチ技術のもととなるセルスイッチルータ技術をIETFに提案し、その後、セルスイッチルータの研究・開発・マーケティングに従事。 1998年10月より東京大学 大型計算機センター助教授、2001年4月より東京大学 情報理工学系研究科 助教授。2005年4月より現職(東京大学 情報理工学系研究科 教授)。 WIDEプロジェクト 代表。MPLS-JAPAN 代表、IPv6普及・高度化推進協議会 専務理事、JPNIC(日本ネットワークインフォメーションセンター) 理事長、東大グリーン ICT プロジェクト 代表、日本データセンター協会 副理事長/運営委員会委員長、IPTV フォーラム 理事長、デジタル庁 シニア・エキスパート。工学博士(東京大学)。			
【著書】 「サイバーファースト~デジタルとリアルの逆転経済~」 (インプレス社) 「インターネット・バイ・デザイン」 (東京大学出版会) 「なぜ東大は30%の節電に成功したのか？」 (幻冬舎)			
11:35~11:45	休 憩		
11:45 ~ 12:45	特別講演	「不確実性の時代のモノづくり」 ~中国リスクと日本のモノづくり~ (一財) キャノングローバル戦略研究所 主任研究員 トランス・パシフィック・グループ(株) 代表取締役社長 北海道大学 公共政策学研究センター 上級研究員	峯村 健司 氏
【講師プロフィール】			
1997年朝日新聞社入社。中国総局(北京)特派員、米州総局(ワシントン)特派員、編集委員(外交・アメリカ中国担当)等を歴任。2013年~2014年米ハーバード大学フェアバンクセンター中国研究所客員研究員。中国の安全保障政策や情報政策に関する報道で「ボーン・上田記念国際記者賞」(2011年)、LINEの個人情報管理問題のスクープと関連報道で新聞協会賞(2021年)を受賞。2022年4月~青山学院大学客員教授。			
【著書】 「中国「軍事強国」への夢」(文春新書) 「習近平・独裁者の決断」(共著・ビジネス社) 「ウクライナ戦争と米中対立 帝国主義に逆襲される世界」(共著・幻冬舎新書) 「十三億分の一の男 中国皇帝を巡る人類最大の権力闘争」(小学館) 「潜入中国 厳戒現場に迫った特派員の2000日」(朝日新書)等			
12:45~13:30	昼 食 休 憩	(お弁当を準備いたします)	

企業事例発表

企業がどのように改善に取り組み成果を上げたか、リアルな話を披露いただきます。
 ※緊急な要件等で、予定している講師・発表者が交代になる場合がございます。ご了承ください。

13:30	}	事例 1	「システム開発スキルゼロから始めた電線・ケーブル工場の挑戦」 ～デジタルツールの内製を現場と協働で実現する～
14:10		大 電(株) 電線事業部製造部生産技術課 森 健太郎 氏	
			<ul style="list-style-type: none"> ◆既存の機器と設備スキルを活かし低コスト・短期間で製造実績収集システムを構築 ◆デジタルツールの内製事例。内製のメリットを活かした開発サイクル高速化 ◆デジタル人材育成の取組み。楽しみながら成長する、実践こそが成長の舞台
14:10	}	事例 2	「電力会社向け開閉器塔組立の作業改善」 ～旧態依然からの脱却～
14:50		(株)戸上電機製作所 製造本部 機器製作グループ 上野 慎一 氏	
			<ul style="list-style-type: none"> ◆ベテラン作業員のカンコツで生産する工芸品並み組立作業の属人化廃止 ◆徹底したムダ廃除と作業環境改善による多能工化し易い職場への変貌 ◆リードタイム短縮により水曜日と金曜日は On Time Day へ
14:50～15:05	休 憩		
15:05	}	事例 3	「仕掛品在庫削減による生産完了遵守率の向上」 ～自社開発のスケジューラー活用をきっかけに現場意識改革を起こし、 現場課題解決に取り組み、仕掛品在庫削減、生産完了遵守率の向上を実現～
15:45		黒崎播磨(株) 耐火物製造事業本部 SN生産技術 工程物流グループ 下司 章弘 氏 高橋 健 氏	
			<ul style="list-style-type: none"> ◆自社開発のスケジューラー導入により、日々の作業予定の見える化に成功 ◆滞留原因を調査、対策した結果、仕掛在庫品削減及び生産完了遵守率を改善 ◆在庫削減でスペース確保。更に動線分析をし、レイアウト改善で安全性・作業性を向上
15:45	}	事例 4	「安全と作業効率を両立した職場環境改善の取り組み」 ～腰痛防止に向けた重量物作業の削減・改善～
16:25		メルコパワーデバイス(株) 第一事業部 製造一部装置保全一課改善 G・グループリーダー 堀田 貴利 氏	
			<ul style="list-style-type: none"> ◆腰痛リスクにつながる重量物作業の見える化 ◆IEの基本的アプローチによる改善事例の紹介 ◆継続的改善に向けたチェックルールの策定
16:25～16:40	休 憩		
16:40	}	事例 5	「粉末のブレンド工程の生産性向上」 ～IE手法を用いた現場改善～
17:20		アリアケジャパン(株) 製造部 6課課長 久家 健太郎 氏	
			<ul style="list-style-type: none"> ◆人の移動に着目した分析と対策～流れ線図とDI分析の使い分け～ ◆現場担当者が本当に必要としている改善内容の掘り起こし方 ◆新規改善にプラスαで安全と5Sを織り込んだ事例
17:20	}	閉会あいさつ	九州IE年次大会 実行委員長
17:25		(株)戸上電機製作所 取締役上席執行役員製造本部長 堤 俊樹	
17:40	}	九州 I E 協会 交流懇親パーティ	(会長・副会長・理事・運営委員・事例発表者・一般参加者) ※参加費4,400円
18:50			

2日目 現場研修会スケジュール

－ 6コースを設定－

各工場見学研修会は、以下の流れで進めてまいります。

- ・各社の製造責任者、実務担当者より会社概要・生産性向上の取り組み等を説明いただきます
- ・実際の製造現場（工場）を見学します
- ・見学の中で気になった点や深掘りしたい取り組みについての質疑・応答を行います（今年度は参加者同士の意見交換会は行いません）

※人気コースは早い段階で満席になります。お早目のお申込みをおすすめします。
※お申込み・ご参加にあたっての注意事項は、次ページ（右下）をご参照ください。

Aコース

9:20 現地集合(予定)
12:00 現地解散

TOTOサニテクノ(株)・TOTOミュージアム（北九州市）

～製造基盤強化による生産革新活動～

同社は、1917年に東洋陶器として設立、日本で初めて陶器製腰掛け水洗便器の生産を開始し、創業106周年を迎える。小倉第一工場は、マザー工場として『技術伝承による人財育成』や『多品種に対応できる生産体制の確立』など、製造基盤を強化しながら各拠点へ展開できる製造技術や人財を蓄積している。

100周年を記念した「TOTOミュージアム」では、快適な生活文化を創造してきた足跡や、今へ受け継がれるものづくりの想いなどを紹介する。



Bコース

13:30 現地集合
14:30 現地解散

(株)安川電機（北九州市）

～量変動に左右されない生産体制への変革～

同社では、生産量の変動に対し、従来であれば生産量見合いとするための工程の再設計、生産設備の準備、人員の再配置等の生産準備を繰り返してきた。

今回、自動化を中心とした生産ラインとすることで、生産量の変動に対しロバスト性を高めた生産体制へと変革したロボット工場を紹介する。



Cコース

12:30 JR小倉駅集合
16:30 JR小倉駅解散

日産自動車九州(株)（京都郡苅田町）

～多様な人財が活躍できるスマート工程の実現～

同社は日産国内最大の量産工場であり、セレナやエクストレイルを始め、国内、北米・欧州・他全64カ国に完成車を出荷している。

同社は少子高齢化、働き方の多様化、パンデミック等の変動に柔軟に対応していく為、『多様な人財が活躍できるスマート工程の実現』を目指している。

これは従来のエルゴ対策だけでなく、従業員のワークライフバランスを尊重した施策、先進的な自動化など広範囲に進めている。

スマート工程のプレゼンによる紹介と各工程の現場見学コースを組み合わせ取り組みを紹介する。



Dコース

13:30 現地集合
15:30 現地解散

(株)ブリヂストン 鳥栖工場 (佐賀県鳥栖市)

～世界の姉妹工場へ技術と製造力を発信～

同工場は、ブリヂストンで6番目の国内タイヤ工場として1970年に操業。同グループの中でも最高水準の製造技術を持つ工場として高性能、高付加価値な乗用車用ラジアルタイヤを世界に供給しており、(パンクなどで空気が抜けた場合一定の距離を走れる)ランフラットテクノロジー採用タイヤ(RFT)も生産している。

スラック生産活動をはじめ、改善活動も積極的に展開しており、世界の工場へ最高の技術と製造力を発信している。



Eコース

13:10 黒崎駅集合
15:50 黒崎駅解散

(株)デンソー九州 (北九州市)

～モノづくりの基本の定着と革新的取り組みに挑戦～

同社は、1993年にデンソーの九州工場としてカーエアコンの生産を開始。2006年にデンソー北九州製作所として独立、以降工場を拡張し、2014年4月にはデンソー九州に社名変更を行った。ラジエータやカーエアコン、ディーゼル燃料噴射機器部品など様々な自動車部品を生産している。

西日本の自動車産業発展の一翼を担い、地域を代表する会社になるべく、モノづくりの基本の定着と革新的取り組みに挑戦し続けている。



Fコース

8:20 JR熊本駅集合
12:40 JR熊本駅解散

(株)湖池屋九州阿蘇工場 (熊本県上益城郡)

～九州初の生産拠点として、2021年8月稼働～

湖池屋九州阿蘇工場は、同社にとって九州初の生産拠点として、2021年8月に誕生。年間約5000万袋の生産能力を有し、主に九州地域に出荷している。

「湖池屋プライドポテト」、「ピュアポテト」、「湖池屋ストロング」などの高付加価値商品をはじめ、「湖池屋ポテトチップス のり塩」、「カラムーチョ」などのロングセラー商品も生産する。

また、湖池屋の歴史と創業以来のこだわりを体感していただきながら、オリジナルポテトチップス作りを体験できる「湖池屋GOGO!ファクトリー」を併設している。



【お申込み、ご参加にあたり注意事項】

- ①工場見学研修会につきましては、**同一コースに参加いただける人数は1社5名(B・E・Fコースは3名)まで**とさせていただきます。お申込み時に、第1希望・第2希望までをご選択ください。
- ②受付は先着順です。各コースとも定員になり次第締め切らせていただきます。
- ③お申込みいただいた後、受入企業の確認後の申込確定となりますので少しお時間をいただきます。
- ④同業種からのお申込みにつきましては、お断りすることもありますので、あらかじめご了承ください。
- ⑤工場内での写真・動画撮影は禁止となっております。
- ⑥2日目(工場見学研修会)だけのご参加はできませんので、ご了承下さい。

★現場研修会の集合時間・集合場所・詳細スケジュールを記載した「現場研修会ご案内(参加コース)」は、1月22日以降に連絡担当者の方へお送りいたします。

申 込 要 領



▶**申込期限：2024年1月30日(火)**

大会ページ



▶本大会はWEB受付です。ホームページより申込手續をお願いいたします。

https://qpc.or.jp/relations/ie/list/_3511.html または **九州 IE 年次大会** で検索

- ▶オンライン申込の方は、お申込み前に、上記URLの本大会特設ページにある「オンライン視聴テスト」より当日の視聴予定の環境にて視聴可能かご確認の上、お申込みください
当日視聴環境により視聴ができなかった場合、参加費のご返金は致しかねます。
 - ▶会場参加は先着順での受付となります。会場定員150名を超えた場合は、オンラインでの受付となります。
 - ▶現場研修会は、同一コース1社5名まで（B・E・Fコースは3名まで）とさせていただきます。また、2日目のみのお申込みはできません。
 - ▶Web申し込みいただきましたら、連絡担当者のメールアドレスに申込受付メールが届きます。（自動返信）事務局にて内容確認し、「**申込確定メール**」（請求書のURL記載）が届きましたら**申込確定**となります。
現場研修会をお申込みの場合は、受入先の確認後の確定となりますので、確定メール返信まで少しお時間をいただきます。
 - ▶申込確定メールに「請求書」のURLを記載しておりますので出力のうえ、開催前日までにご納入下さい。
振込手数料はお客様にてご負担をお願いいたします。
開催日前日のキャンセルは参加費50%、当日のキャンセルは参加費100%のキャンセル料を頂戴します。
 - ▶1月22日以降に、会場参加の方には「参加証」[現場研修会案内（参加コース）]を、連絡担当者の方へ参加者分まとめて郵送いたします。
オンライン参加の方には、2月5日に、視聴用URL、ID・パスワード、資料ダウンロード方法等を、申込時に登録いただいたメールアドレスへメールにてご案内します。※講師事情によりテキストアップは遅れる場合がございます。（開催直前にも再度リマインダーメールを配信します）
 - ▶会場参加、オンライン参加の方ともに、メールでご案内したURLより、必要な方はテキストデータを出力して下さい。**当日、会場でテキスト配付はいたしません。**
 - ▶お申込後、お申込の方に万一お差し支えの時は、代理の方のご参加をお願いいたします。ご納入いただきました参加費は原則としてお返しいたしかねます。
 - ▶オンライン参加の場合は1端末1名様での視聴をお願いします。参加者ご本人以外の視聴はお断りします。
 - ▶ご講演内容の画面撮影・動画撮影・録音・SNS投稿はご遠慮願います。
- ※お申込みの際いただいた個人情報は、ご本人の承諾なく本会の実施目的以外には使用いたしません。

■ 参加費 【1名あたり（消費税込）】

区 分		1日目（会議）のみ参加	1日目+2日目参加	交流懇親パーティ参加 （1日目終了後、希望者のみ）
IE協会 会員企業	5名まで	18,700円	23,100円	4,400円
	6名以上	16,500円	20,900円	4,400円
九州生産性本部会員企業		19,800円	24,200円	4,400円
未 会 員 企 業		24,200円	28,600円	4,400円

■ 1日目（2/14） 大会会場略図

ソラリア西鉄ホテル 8階 彩雲
福岡市中央区天神2-2-43

■交通アクセス

- ・JR「博多」駅から 地下鉄所要5分、徒歩5分
- ・地下鉄空港線「天神」駅から 徒歩約5分
- ・西鉄福岡駅から 徒歩2分(直結)

詳細は会場HP:
<https://nnr-h.com/solaria/fukuoka/access/>

■ お申込・お問合せ先

九州インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会 担当/安松・三小田・安永・齋藤 さんこだ
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館6階
TEL(092)771-6481 FAX(092)771-6490 URL <https://qpc.or.jp/>